

廃棄物減量等推進審議会会議 会議結果

会議名	令和6年度第2回木津川市廃棄物減量等推進審議会		
日時	令和7年1月20日（月）午後2時30分から	場所	木津川市役所 4階 会議室 4-1
出席者	委員 ■…出席 □…欠席	■橋本委員（会長）、■奥田哲士委員（副会長）、■中野委員、■上田委員、 □石田委員、■大塚委員、□田中委員、■中森委員、■吉岡委員、■仁張委員、 ■新井委員、□奥田智委員、■中山委員、■岩田委員、□藤本委員	
	その他出席者		
	庶務	市民環境部：前川部長 環境課：岩本課長、速見課長補佐、三谷係長、藤本主任 学校教育課：東村課長 農政課：米田課長 管理課：吉田課長	
議題	<p>1 開会</p> <p>2 議事</p> <p style="padding-left: 20px;">（1）報告事項</p> <p style="padding-left: 40px;">①令和6年度市民提案型ごみ減量活動等補助金交付決定について（資料1）</p> <p style="padding-left: 40px;">②令和6年度循環型社会推進基金活用事業進捗状況について（資料2）</p> <p style="padding-left: 20px;">（2）審議事項</p> <p style="padding-left: 40px;">①令和7年度循環型社会推進基金活用事業（案）について（資料3、4）</p> <p style="padding-left: 40px;">②木津川市一般廃棄物処理基本計画（案）について（資料5）</p> <p>3 その他</p> <p>4 閉会</p>		

<p>会議経過</p>	<p>速見 (進行)</p> <p>会長</p> <p>速見</p> <p>会長</p> <p>速見</p> <p>会長</p> <p>事務局</p> <p>会長</p> <p>上田委員</p> <p>速見</p>	<p>定刻となりましたので、ただいまから令和6年度第2回木津川市廃棄物減量等推進審議会を開催します。</p> <p>審議会の定足数について、委員様15名のうち過半数を超える11名出席いただき、木津川市廃棄物の減量及び適正処理等に関する条例施行規則第8条第2項の規定により、会議が有効に成立しておりますことをご報告申し上げます。</p> <p>事務局説明省略(資料確認)</p> <p>議長につきましては、同施行規則第8条第1項の規定により、橋本会長にお願いしたいと思います。</p> <p>まず審議会運営内規第5条第2項の規定によりまして、会議の記録の署名委員を指名させていただきます。名簿順で、中森様お願いします。</p> <p>それでは、議事の報告事項①「令和6年度市民提案型ごみ減量活動等補助金交付決定について」、事務局からご説明をお願いします。</p> <p>事務局説明省略(同補助金の交付決定について)</p> <p>本件につきまして、ご意見、ご質問等ございましたらお願いします。 私から1点確認ですが、制服のアップサイクルについて、事業費31万1070円に対し、交付決定額は27万1070円よろしいですか。</p> <p>はい。本事業費は、預かった不要な制服をクリーニングに出す費用がほとんどです。その制服を必要とされる方にお渡しする際、クリーニング代程度のお金をいただいております、その収入分を除外した金額が交付決定額です。</p> <p>わかりました。 それでは続きまして報告事項②「令和6年度循環型社会推進基金活用事業進捗状況について」のご説明をお願いいたします。</p> <p>事務局説明省略(基金活用事業の進捗状況について)</p> <p>それでは、ご質問・ご意見等いかがでしょうか。</p> <p>これらの事業の、費用についてはまた報告してもらえますのでしょうか。</p> <p>令和7年度事業の費用につきましては、今年度が終わり、確定しましたら、令和7年度の第1回の審議会におきまして説明させていただく予定です。</p>
-------------	---	---

会長	<p>そのほかいかがでしょう。</p> <p>では私から。雑がみの保管袋はどのような感じか、少し教えてもらえれば。</p>
速見	<p>雑がみ保管袋は現在作成中で、2月から年度末までに、シルバー人材センターの方に全戸配布いただく予定です。</p> <p>広報への折込みも検討したのですが、サイズが少し大きいこと、また3月は他部署からも折込み依頼が多く、例年折り込んでいるもの以外は原則折り込めないようになっております。</p> <p>また普段広報を配布していただいている市民の方にもご迷惑がかかりますので、シルバー人材センターによる各戸配布としております。</p> <p>過去に作成しました雑がみ保管袋につきましては、古紙回収が活発な地域からは、追加で雑がみ保管袋がほしいというお声もいただいていたのですが、在庫の都合上、十分にお渡しすることができませんでした。</p> <p>今回の全戸配布後、令和7年度の秋に予定しております可燃ごみの組成調査にて、古紙の量が減るか重点的に調査したいと考えております。</p> <p>令和7年度の審議会において、進捗状況等を報告させていただきます。</p>
大塚委員	<p>今回の雑がみ保管袋の大きさは、以前作成されたものと同じですか。</p>
速見	<p>はい、同じ大きさです。</p> <p>色は少し変えますが、以前に雑がみ保管袋を積極的に活用いただいている団体へ保管袋を追加配布した際に、大きくは意見が出なかったもので、前回の形を踏襲させていただきました。</p>
大塚委員	<p>マチのところ、もう少し幅を持たせたほうがいいのではないのでしょうか。</p> <p>私の家では、普通の紙袋に古紙を入れているのですが。</p>
速見	<p>おっしゃるとおり、お店などの紙袋に入れていただけたら、持ち手もあり排出するのも簡単ですので、それが一番ありがたいです。</p> <p>次回作成する際は、マチの大きさやサイズについても検討させていただきます。</p>
上田委員	<p>確認したい。これはあくまで保管する袋で、この袋のまま古紙回収に出すものではないということか。</p> <p>私もお店の紙袋で代用しているが、この保管袋ごと出すことは想定されなかったのか。</p>
速見	<p>同様のご意見をいただいたこともあり、保管袋ごと出す方もおられると予想しております。</p> <p>この雑がみ保管袋を作る際に、例えば持ち手を付けて保管袋ごと出せるよう</p>

		<p>にする、という手段も検討したが、月に1回の回収があるとすれば、1家庭につき保管袋が年12枚必要になる。</p> <p>月1回か2週に1回のペースで回収されている地域が多いと聞いているので、最低12枚から24枚以上必要、となれば予算がかなり必要になる。</p> <p>ですので、まずは前回のものを踏襲させていただき、次の組成調査でどれぐらい古紙が減るのかを見る。</p> <p>目に見えるほど効果があれば、この保管袋に利用価値があると考えられ、多少お金がかかっても1家庭に複数枚ずつ配布し、袋ごと排出できるようにするのも一つの手段かと考えております。</p> <p>今後、委員の皆様にも結果を提示させていただきながら、この袋をどう活用したら良いか、ご意見をいただきたいと考えております。</p> <p>吉岡委員 私は、スーパーなどで段ボールを貰い、雑がみ用のごみ箱として使っている。そして古紙回収の日には、ガムテープで閉じ、上に「雑がみ」とマジックで書いて出している。</p> <p>専用の段ボールを作ったら費用がかかるが、こういう方法なら費用もかからないのでは。</p> <p>雑がみ保管袋だと、そのまま排出されてしまう方がいる。保管するだけの紙だとは、周知しがたいと考える。</p> <p>速見 おっしゃるとおり、既にある物で代用いただけたら良いと考える。</p> <p>ただ、古紙類は、段ボール・雑がみ・新聞紙と種類ごとに分けて排出いただくのが、再生する上で効率が良いと聞いている。</p> <p>段ボールに雑がみを入れると、収集時は効率が良いが、処理する際には段ボールを開梱する手間がある。</p> <p>市としては、できれば古紙は種類ごとにまとめて出していただきたいと考えています。</p> <p>吉岡委員 収集する様子を見ると、古紙は一種類ずつ、車両へ層状に積み上げているように見えるが。</p> <p>新井委員 パッカー車のことでしょうか。確かに、パッカー車は最初に新聞、次に雑誌という風に積む。そして降ろす時は一種類ずつ降ろしている。</p> <p>その際、多少新聞と雑誌が混ざることもあるが、段ボールと新聞が混ざってしまうと困る。</p> <p>業者によって様々なやり方があるが、平ボディの車両であれば、区切って積むことができるため、種類ごとに降ろしやすい。その際、古紙の種類をぐちゃぐちゃに混ぜることは無い。</p> <p>1台の車両で、3品積むことはなかなか無い。大体は新聞と雑誌を同じ車両に積み、段ボールは別車両というケースが多いかと。</p>
--	--	--

		<p>排出時には、雑がみ保管袋などの紙袋で出していただけたら。雑誌類と雑がみを一緒に出されても、大きい問題には現状なりにくい。ただ新聞と雑がみは、再生するにあたり、少し用途が違ってくる。</p> <p>各ご家庭で多々苦勞いただいております、我々も大変ありがたく思っている。</p> <p>人の目ではないと分別できないこともあるので、人力で分けてないといけません。我々も、そして多くの事業者がそうじゃないかと考える。</p>
会 長		<p>今回の雑がみ保管袋の配布は、現在可燃ごみの中には雑がみがたくさん入ってしまっていて、実はそれらは再生利用できる、ということを広報する意味もあると考えます。</p> <p>それでは続きまして、審議事項に移らさせていただきます。</p> <p>一つ目、令和7年度循環型社会推進基金活用事業（案）について、ご説明をお願いします。</p>
速 見		事務局説明省略（令和7年度基金活用事業案）
会 長		<p>ありがとうございます。</p> <p>これまでよりも広い範囲を対象とした事業をご提案いただいておりますので、そのあたりを中心にご意見いただければと思います。</p>
上田委員		<p>資料4の古紙回収事業補助金に関連して。</p> <p>ごみ減量の効果という面と、行財政改革の面と、二つの面からこの補助金の増額についてお考えいただきたい。</p> <p>この補助金の趣旨・目的は、あくまでも紙ごみの減量であり、紙のリサイクルの推進する動機づけのために補助をする、というのが古紙回収補助金であり、それが全国の市町村の共通認識。</p> <p>決して、団体を支援するのが目的ではないと考えています。</p> <p>おそらく一部の団体から、「古紙回収補助金による収入が減ってきたので補助金を増やしてほしい」という要望があったため、今回提案されたのではと察するが、そもそも補助金額が減ったのは団体の古紙の回収量が減ったから。であれば、回収量を増やす努力を団体に促すのが本来の目的のはず。</p> <p>ところが、提案のように補助単価を引き上げてしまうと、団体からすると別に回収量を増やさなくても補助金が倍になるので、なんともおいしい話になる。</p> <p>各団体から恨まれてしまうので反対はしたくないが、単価引上げは、回収量の減少を食い止め、あるいは増やそうという団体の意欲を削ぐことになるのではと考えます。</p> <p>要するに、ごみの減量という視点からは、まったくの逆効果ではないかと私は考えます。</p> <p>加えて、古紙回収量の減少は、新井委員もよくご存じと思うが、ペーパーレスの進歩や、高齢化など、いろいろな要因がある。そして全国的に減少してい</p>

		<p>と思う。</p> <p>これは、木津川市が補助金の増額したところで解決できるような、減少を止められるような、そういうレベルのものではないはずです。</p> <p>そう考えると、この補助金の増額は、捨て金にもならないという気がする。</p> <p>付け加えると、そもそも団体の運営に必要な補助金というものは、既に他の様々な分野で対応されているはず。すべては承知していないが、自治会や、老人クラブも。</p> <p>団体の運営などに対する補助は、他分野で検討するものであり、この基金を利用して支援するものではない。</p> <p>市民の関心を促すため、との説明もあったが、全くもって団体への支援のような印象を受けるので、筋違いではないかという気がして仕方ない。</p> <p>もう一点。行財政改革の面からすると、例えば、この補助金の単価を別に1円下げたとしても、各団体は古紙回収活動を止めないのでは。単価がゼロ円になったらさすがに止めるかもしれないが。</p> <p>むしろ、単価を引き下げることにより「回収量を何とか維持しよう」という方向へ心理的には動くはずである。</p> <p>私自身も過去に老人クラブの役を務めており、補助金が減少傾向にあった時、回収量を何とか増やそうと、私は努力してきた。</p> <p>最近行財政改革の声が静かになっている。しかしながら、他部署ではやはり今も行財政改革に取り組んでいる。</p> <p>この補助金の増額は、行財政改革の逆を行っている感じがする。これらの基金を活用した新規事業は、行財政改革の隠れ蓑だという印象を受けられる可能性もあるのでは。</p> <p>行財政、あるいは行政全般との整合性という点から、ぜひ再検討いただきたい。行政の支援を受けなければいけないことは、ほかにもたくさんあるし、これからもどんどん増えていく。</p> <p>その中でも、古紙回収は別に支援を受けなくても、努力で解決できる。だからこそ、市民が努力をしたらよいだけでは。慎重に、再検討いただきたい。</p> <p>会 長 確認ですが、本提案は、既に予算案として決まっているものですか。予算化の議論は終わっているのでしょうか。</p> <p>岩本課長 財政課と調整し、単価を10円とする方向で進めています。</p> <p>上田委員 まだ、間に合うのか。</p> <p>岩本課長 予算に計上すべきでないということでしょうか。</p>
--	--	---

上田委員	半分に減らせ。もとに戻せということ。
岩本課長	間に合わなくはないですが、事務局としては10円で進めたいと考えています。
上田委員	提案としては、伺いましょう。
速見	<p>上田委員からの意見について、各団体の収入が減っているため補助金を上げることによって補填したいのでは、という意見がありました。確かに、年に1,2団体程度からそういうご意見は聞きますが、それらの意見を強く反映させて補助金を倍にするわけではありません。</p> <p>木津川市では、可燃ごみのうち約30%が紙類で、更にその12%程度は、各ご家庭で分別いただければ排出を抑えることができる古紙です。</p> <p>市民一人当たり1日に大体400グラムの可燃ごみを出されているので、単純計算で約40グラム程度は、分別することで減らすことができる計算です。理想論ではありますが。</p> <p>そういった思いもあり、補助単価を10円とすることで、市民の皆様にご大きく注目していただき、今までは面倒で可燃ごみに雑がみを入れていたのを、自治会や老人会、PTAなどが収入にするため、もっと雑がみを分別しよう。そんなきっかけにしていただけたら、という思いがございます。</p> <p>単純計算ですが、環境の森センター・きづがわで可燃ごみ1キログラムを焼却処理するには、28円程度の費用がかかっています。</p> <p>そのため、1キロあたり補助単価を10円にしても、トータルとしては経費を抑えることができると環境課では考えており、10円にさせていただきたいとご提案しております。</p>
会長	経費の試算では回収量を2,000トンとされているが、現状はどれくらいの量ですか。
速見	<p>今年度は1,600～1,800トンくらいかと。</p> <p>補助単価を倍にすることで、可燃ごみに含まれる古紙をゼロにできるとは考えていません。</p> <p>雑がみ保管袋も一つの方法であり、本補助金も一つのきっかけとして、相乗効果で可燃ごみへの紙類の混入を減らすことができれば非常にありがたい。</p> <p>ですので、1年限りでこの取組みを終わらせたいとは考えておりませんし、数年間は雑がみ保管袋や単価10円を続け、効果を見極めたうえで、継続するのか元に戻すのか検討していく必要があると考えております。</p>
新井委員	最近の古紙の状況ですが、コロナ禍の前後で比較すると、古紙の量は間違いなく毎年減少しています。

		<p>特に新聞古紙は、新聞を読まれる方がかなりの割合で減っている。毎年数パーセント減少しており、雑誌や書籍などについても徐々に最近減少し始めている。ただ段ボール古紙については、ほぼ横ばいか、微増している。</p> <p>我々の業界としましては、雑がみ回収に関して非常に注目をしています。雑がみ回収により、古紙の回収量が単純に増えるだろうという予想で業界も動いています。</p> <p>ただ実際、雑がみ自体が非常に分かりにくく、例えばお菓子の箱が一つ段ボール箱に挟まってもわからないように、回収量を把握するのが難しい状態。そのため、こういった補助金の拡充を提案されているのでは、と私は予想しています。当然、回収業者は補助金を1円ももらっていないです。</p> <p>前提として、回収団体は、毎年回収量が減っていると思います。</p> <p>その中で、回収団体は手間暇かけて集めていただいているのに、補助単価は変わらず、古紙の量がただ減っていつているので、団体には負担が掛かっていると察します。</p> <p>ただ、倍増というのは、私も初めて見てびっくりしたのですが、インパクトがある数字なので、この単価の引上げでどれぐらい効果が出るのか、私もわからない。</p> <p>雑がみには、まだ回収量を増やす余地が大きくあると思っています。</p> <p>可燃ごみの組成調査においても、古紙が重量比で10%程度ございます。</p> <p>市としましては、先ほど上田委員がおっしゃったように団体の補助を目的に進めているものではありません。可燃ごみに含まれている古紙を削減したいというのが、当初のアプローチです。</p> <p>単価10円は、私どもも高額だと思いました。京都府下でトップの自治体になるかと思いますが、1キロの可燃ごみを焼却する手数料が約28円ですので、28円かけて燃やすより補助単価を5円増やし10円とする方が、財政的にもメリットがあり、ごみ処理費用を削減することにつながると考えています。</p>
岩本課長		<p>少しよろしいでしょうか。本会議の終了予定は17時ですが、あと1つ議題が残っています。16時半までで本議論は終わりとし、残り30分でもう1つの議題を議論いただきたく思います。事務局説明を含めて。</p>
会 長		<p>はい、お願いします。</p>
岩本課長		<p>ごみ処理の原価とかいろいろな話をされているが、そんな話を持ち出されると、古紙回収補助金や、この会議だけじゃなく他の全部について吟味しなければなりませんよ。我々にはそこまで注視する能力はありません。それを引き合いに出すのは、ちょっとおかしいと思います。</p>
上田委員		<p>焼却費用が28円という話ですが、ちょっとその議論はさておき、先ほど私が</p>

		<p>申し上げたように行財政改革の面から見ると、ちょっとあんまりです。</p> <p>木津川市はこんなに豊かな市だったかなと思い、びっくりしている。木津川市の財政はそんなに豊かではない。まるで隠れ蓑のようだ。</p> <p>追加で出てきた新規事業も、とにかく基金を使ったらいいような印象。事業そのものについて反対する理由はありませんが、まるで基金を使うことが当然というような発想で、本来行政が他の財源で実施すべきことに基金を活用しようという提案に思える。</p> <p>財政面を見ると、あまりにも基金に余裕がありすぎるから提案しているような。単価を10円とすることにインパクトがあるのは分かるが、そこまでしないといけなから。雑がみのことも説明されたが、それは結構。</p> <p>ただ、こういう啓発や指導を徹底するのは、そもそも行政本来の仕事でしょう。お金をばらまくという発想は、いくら何でも控えていただきたい。</p> <p>今日結論が出ないのなら、予算はもちろん、最低でも執行することを保留して、時間をかけて吟味すべきと思う。</p> <p>会 長 いろいろな提案が一気に出ましたので、これら全てをすぐ来年度からやるのは、ちょっと議論が不十分なまま進んでいる印象を受けます。</p> <p>中野委員 私も、上田委員や橋本委員と同意見です。</p> <p>私自身、去年まで行財政改革の委員をさせていただいておまして、そちらでは木津川市財政が厳しいから少しでも節約しなければならない。では何を削るか、という風に議論し重ねてきた一方で、こちらの審議会ではお金の使い道を考えており、かなりギャップを感じています。</p> <p>例えば、新規事業④のごみ回収拠点に対する「清掃用具貸与事業」について、100拠点分とあるが、本当に必要な数だけにすれば、少しでも節約できるのではないかなと思いました。</p> <p>どのような計算で100セットと出たのか、この資料を見て疑問に思いました。</p> <p>あと新規事業⑦、これまでやっておられなかった講演会事業をされるということで、非常にキャッチーで面白いイベントではあると思うのですが、行財政改革のほうではこういった新しく面白いことに割くのは、財政的に少し厳しいと聞いていました。</p> <p>実際この事業はかなりお金がかかるようですし、講演をさせていただいたところでどれくらいの影響があるのか。お金をかける割には、どの程度効果を得られるのか、少し難しいのではと思います。</p> <p>なので、お金の使い方というところを、もうちょっと考慮していただければありがたいというのが市民の感情でございます。</p> <p>会 長 ちょっと会議の進め方について、今回提案の件数も非常に多い状態で、この短時間でやるのは結構大変ではないでしょうか。これまでも基金の使い道をど</p>
--	--	--

	前川部長	<p>うしていくかという議論はあったのですが、具体的な提案として出てきたのが今回初めてなので、合意を得ながら進められるのでしょうか。</p> <p>長時間ご審議いただきありがとうございます。市民環境部長の前川と申します。市全体のことで、私から概略的な点について申し上げたいと思います。</p> <p>先ほどの行財政改革の視点でご指摘いただいた点は、まさにその通りで、市としても決して豊かな財政ではありません。限りある財源をどのような事業に当て、その効果をどう測定していくのか、苦心しながら提案させていただき、また留意してきたのが大前提でございます。</p> <p>基金が積みあがってきており、これを使うということは、非常に重要な視点だと思っています。</p> <p>ただご指摘のとおりどのような事業にも使っていくのではなく、本基金には条例があり、その条例の第1条にこの基金はどのようなものために積み上げているのか。またどういう分野に活用していくのかというのが、入口にあります。</p> <p>先ほどご意見いただいた啓発事業や、ごみの減量に直接つながる取組みなどは、過去の審議会でご提案させていただき、ご意見をいただきながら了解いただくことで、行政として進め、あるいは一定期間を設けて検証していくなどを決め、議会に上程し、議決いただいたものについて新たな予算で執行していました。</p> <p>その中で、慎重に事を進めるべきだというご意見、あるいは既存事業の延長線上にあるので、進めていくべきだというご意見もいただき、今回の審議会でもご意見の方向性として大事な点だと思っております。</p> <p>一つ一つの事業について、提案どおりでよいか諮りますと時間の関係もあります。3月の議会は2月の終わりから始まります。10日前には議案書を作成し、予算書案は完成している状態で、2月の中旬には予算を固める必要があります。</p> <p>予算を提案した以上は、それを執行していくのが私たちの義務であり、責任であります。日程の関係もあり、十分な審議のお時間を取れず非常に申し訳なく思いますが、最終的には市長を含め市全体の財政状況を見ながら、どのような事業に財源を充てていくか決めさせていただく。</p> <p>ただ、ご指摘もいただいた中で、一般財源や他の財源でやるべき事業を、本基金があるから何にでも充てていいというような議論にはしたくないと考えております。</p> <p>事業についても、期限を決めて評価をする。3年なら3年と決め、効果をしっかりと検証し、効果の無いものはスッと止めていく。</p> <p>初めにしっかりと説明したうえで予算化し事業を実施していきたいという考えで事務を進めているとこととでございます。</p> <p>非常に限られた時間で、予算を編成しており、行政の中で相当程度時間をかけて検討して参りました。</p>
--	------	--

		<p>何とか、提案の形で進め、事業を始めることについて、ご理解を頂けたらと考えております。</p> <p>ただ、ご指摘いただいた点については、事業を進めながら対応していきたいというのが市としての思いでございます。</p> <p>一つ一つの事業について時間をかけて議論いただくことが重要と重々承知したうえで、本基金の設置目的に沿った活用ということで、ご理解いただけますよう申し上げたい。</p>
会 長	速 見	<p>今回ご提案いただいたものは、資料3の活用事業案にすべて集約されているのでしょうか。</p> <p>資料3に記載しているものは、環境課がごみ減量に資するものとして実施しているものです。</p> <p>追加で配布した資料が今回新たに提案させていただいている事業でして、いつも第1回目の審議会にて基金の収支を報告していますが、その資料に、これら新規事業の経費を記載し報告させていただくことになるかと考えております。</p>
会 長	速 見	<p>評価部会にも上げていくことになるかと考えますが、どのように検証されるのでしょうか。</p> <p>今回初めて環境課以外の部署に基金を当てさせていただきたいという提案をしましたので、どのように評価させていただくか、本審議会にお伺いさせていただくことになるかと考えています。</p> <p>資料3の事業と同様にはできないかと、考えています。</p>
会 長	岩本課長	<p>事務局としては本事業を進めたいということですが、皆様いかがでしょうか。時間は、残りあと25分くらいです。</p> <p>恐れ入ります、事務局としては、これら事業についてもう少しご意見いただきたいと考えております。</p> <p>次第の順番と変わりますが、先に次の一般廃棄物処理基本計画についてご意見いただいて、それでおそらく当初の終了時刻17時を回ってしまうかと思いますが、もう少しお付き合いいただける委員様には、もう一度本件についてご意見・ご指摘いただき、予算を組む中で、また、改めて組織として、審議会のご意見を踏まえどうするか精査し、それでもやはり市としてはこのまま行く可能性は大いにあるかと思いますが、もう少しご意見、ご指摘をいただき、予算編成の検討材料とさせていただきたいと思っておりますので、順番を変えて、処理計画の方をさせていただければ幸いです、皆様いかがでしょうか。</p>

会 長	<p>どうでしょうか、よろしいでしょうか。</p> <p>はい、それでは先にごみ処理基本計画の方に移らせていただければと思います。時間を短縮して、10分程度でご説明いただけますでしょうか。</p>
三 谷	<p>はい。木津川市一般廃棄物処理基本計画についてご説明させていただきたいと思います。</p>
会 長	<p>すみません、基本計画は次回も議論の機会はまだ残っているのでしょうか。</p>
速 見	<p>基本計画は、本日もご意見いただいた分は反映し、パブリックコメントにかけなければならないので、パブリックコメントで出てきた意見に対して事務局の回答を、3月の第3回の会議で皆様に提示させていただいた後、決定していきたいと考えております。</p>
会 長	<p>はい。では、説明お願いいたします。</p>
速 見	<p>事務局説明省略（令和7年度一般廃棄物処理基本計画（案））</p>
会 長	<p>ありがとうございます。それでは、事前に読まれている方がいらっしゃいましたら。</p>
上田委員	<p>ごみ処理基本計画というのは、この冊子全てですか。それとも、37頁からですか、どちらでしょうか。</p>
岩本課長	<p>全てでございます。</p>
上田委員	<p>そうですか。一つお尋ねします。6頁の目標年次について、令和22年度と明記している。15年先ですね。長いなと思うのですが、その根拠を教えてくださいなど。</p> <p>15年先というのは、いろいろな推計する仕組みが理解できないが、それはいいとして、私もきっと生きていないから。</p>
岩本課長	<p>前回作成した分も15年です、大体全国的に10年もしくは15年度作成しているところが一般的でございます。</p> <p>前は平成22年から15年分を計画したのですが、本来でしたら5年毎に見直し、現状に合うよう時点修正し、調整すべしではあったのですが、全く途中の見直しができなかったのが現状で、反省しているのですが、今回の15年計画については5年毎に計画を見直し、時点修正し、必要な変更をさせていただく予定ではあるのですが、前回等を踏襲して15年とさせていただいたところ です。</p>

副会長		<p>結局、どれが計画なのでしょう。事前に読んだつもりですが、いまいわからないのですが。</p> <p>一般的には10年後に1人あたりのごみの量を5%削減しますとか、その中でも例えば雑がみに困っているの、雑がみについては10%、食品についてはなかなか難しいから2%とか、詳細な数値目標的なものがいっぱいあると思うのですが、ちょっと資料からは、「推計」というのはあるのですが、推計が目標値なのか、推計の結果、そこから頑張って目指す目標値が別にあるのか、ちょっともう少し、数字的なものをご説明いただければと思います。</p> <p>推計は40頁前後にいろいろあるのですが。</p>
会長		<p>ちょっと私の方で読み取ったのは、40ページの減量化率っていうのが目標なのかと。ただ、いつの排出量が10%減量なのかは書いていないかと思いますが。</p> <p>1人あたりではなく、年間の話で、市トータルの排出量10%削減。いつするのかというのが書かれていない。</p>
岩本課長		<p>令和22年度に、10%削減へ持っていきたいというのが、目標ではございます。令和22年度に、令和2年度比90%。-10%の減量としたいのが目標ということになります。</p>
副会長		<p>基本的に、その数字だけでしょうか。</p>
岩本課長		<p>はい、45頁にありますごみ処理フロー、ここに、これくらいになるであろうという推計はあるのですが。推計と目標が必ずしも一致しているわけではございませんが、40頁のところにマイナス10%の目標としております。</p>
副会長		<p>人口について、その直前に予想図がありますけれど、現状と15年はほとんど変わらないということですよ。</p> <p>一般的には、1人あたりのごみの量で目標が作られます。例えば人口が10%減少したら、現状のままで10%減量が達成してしまいますので。</p> <p>ただ、木津川市の人口は試算上15年後もあまり変わらないということで、廃棄物総量で10%削減として問題ないとするには、少し違和感がありますので、1人あたりにすべきかと思いますが。</p> <p>人口があまり変わらないから廃棄物総量で目標を作ったという理解でよろしいでしょうか。</p>
岩本課長		<p>そのように考えておまして、5年毎に見直す中で、今後の国の施策や、分別の方法などが大きく変わらない限り、人口がそのままであれば、概ね10%減らすことで、1人あたりについても10%減ってくるであろうという予想で目標を作っております。</p>

副会長	<p>10%という、全員が1割減らすということで、少し大きい気がします。</p> <p>ついでにお話しさせていただくと、ごみ調査の中で紙類が36%くらい入っており、このうち1/3くらいの12%くらいが雑がみだということですが、紙・布類の中でどれくらいが布で、どれくらいが段ボールで、また新聞紙で、というデータはあるのでしょうか。</p>
岩本課長	<p>こちら27頁の表は、環境の森・センターきづがわの組合で調査されているものを記載しております。</p> <p>これとは別に、木津川市で年に1度、委託業者と職員で、実際にセンターへ持ち込まれているごみ袋を開けて、紙が30%ほどある、うち何%は本来リサイクルできるよねと、目視で確認しています。</p>
副会長	<p>よくごみの展開調査をコンサルにさせる市町村もありますが、そうではなく目視でやられたと。</p>
速見	<p>展開調査です。木津川市では、ごみの容積や重量を測定した後、ブルーシートの上に全て広げ、調査員が一つずつ確認した中で、令和5年度の調査では36%ほどが紙類と繊維類ですと分かりました。</p> <p>そのうち再生できないティッシュのようなものは除くと、およそ12%程度が雑がみである、という結果が出ています。</p>
副会長	<p>少し要望するにはもう遅かったですが、これは今後15年の計画を決める大事な計画で、10なのか9なのか、守れるのか守れないのかはとても大きいことでして。</p> <p>そういうデータをお持ちなら、付録にでも出していただけると、「この分類は削減できる、だから10%削減できる」ということが分かるので、よかったかと思いました。</p> <p>ついでに言うと、もし目視でやっておられるなら、そういうところにこそ基金を活用して、現状どうなのか詳細に測る方が、市民も納得されるのかと思います。</p> <p>付け加えると、今木津川市でも、平和堂さんなどが開設されています回収拠点で、ポイントを1キロで1円分。市民の方からすると、古紙を集団回収に回しても自分のお金になるわけじゃないですが、平和堂さんに持って行ったら1キロ1円になるのだから、0円と1円の違いになりますよね。</p> <p>本当に減らしたいなら、その平和堂さんに補助をして、それを2円にすると。1円分は市が補助するとなると、市民の方も一生懸命回収すると思いますので、そういったことを考えたらいいと思います。</p> <p>ついでのついでで申し訳ないのですが、京田辺市は現在6円ですね。ちなみに大津市は3円です。そして京都市は0円です。京都市は、紙は資源というこ</p>

		<p>とで市は一切回収しない、集団はしますが。拠点で集団やマンションなどに対し一括して月1万5,000円という補助は出しますが。個別にキロ何円といった補助は無いので、今日はもうご返答結構ですが、周辺自治体もいろいろ見られて、一番木津川市に適したものを選ばれたらいいかなと思います。</p>
中山委員		<p>木津川市商工会の中山です。</p> <p>この基本計画は15年計画ということで長期な計画に当たるとは思いますが、5年毎の数字などはあるのでしょうか。</p>
岩本課長		<p>精査しきれず、15年分を一括としています。マンパワーが不足、本来おっしゃるような5年毎の数字を挙げることで、見直しもしやすいようにしたい、という思いはあったのですが、そこまでは至らなかったというのが実情です。</p>
中山委員		<p>作り方としては、問題ないのでしょうか。形式的に。</p>
岩本課長		<p>そう考えております。</p>
会 長		<p>近年の行政計画は、割といろいろな指標を散りばめて、指標でモニタリングしていく、ビジネスもそうだと思うのですが。</p> <p>それを考えると、指標が1つしかない状況となっているので、改善の余地があるかなと。</p>
副 会 長		<p>39頁の人口予測を見ると、今後5年は人口が増えますので、排出量の上昇も5%に抑え、次の5年で現状に戻す、そして次の5年でマイナス10%を目指すという適当な値は付けられるとは思いますが。</p> <p>5年毎の目標値を入れられなかった理由には、今後の人口増もあると思うのですが、それはごみを5%増やしていいということではないので難しいのからと推察したのですが、きっちり作った方が市民の方はやる気になりますので。</p> <p>そういう意味では、先ほど申し上げたように1人当たりのごみを、5年後はここまで減らしますよというものを作った方がいい、一般的かなと思うのですが。</p>
会 長		<p>現状の計画は、1人あたりの目標があったのではと思うのですが、どうでしたでしょうか。</p>
速 見		<p>この一般廃棄物処理基本計画とは別に、もったいないプランという計画あり、前は、基本計画を作った次の年に作成しております。</p> <p>このもったいないプランを令和7年度に更新していくこととなりますが、こちらの方には、今先生おっしゃっていただきました、1人あたりの排出原単位の目標値っていうのを、記載させていただいております。</p>

	<p>会長</p>	<p>また、環境課が実施しているそれぞれの事業の目標値も記載しておりますので、もったいないプランを改定する際には、おっしゃっていただいたような具体的な数値が出てくることになるかと考えております。</p> <p>それは、行政として二重に仕事をしていることにはならないですか。一つの計画にしても良い気がしますが。</p>
	<p>速見</p>	<p>本来はこの計画ともったいないプランを一緒にして、一本化できれば非常に軽くなってくるのですが、現状のもったいないプランは、処理計画と同じぐらいのボリュームがありますので。</p> <p>処理基本計画をまず令和6年度に改定し、令和7年度にもったいないプランをもう少しスリム化したいと。</p> <p>処理基本計画と重複するところは割愛し、スリム化したもったいないプランにして、今度の改定時には一本化したいという思いを持っております。</p>
	<p>会長</p>	<p>前計画の評価を踏まえて次の計画へ、というステップをちゃんと踏んだ方がいいかと思っておりますので、次回改定時には、このもったいないプランの方が詳細だということで、その評価も踏まえた上でどうするか、議論の仕方を工夫していただけるといいかなと。</p> <p>今回の基本計画については行政の法定計画であり、本来はもう少し時間をかけてやった方がよいとは思っています。</p> <p>それでは、10分ほど時間を過ぎてしまい申し訳ありません。今日予定していました議事は以上になります。</p> <p>その他、何かございますか。</p>
	<p>速見</p>	<p>すみません、皆様方にはメールにて事前に日程をお伺いしたところですが、第3回、今年度最後の審議会は3月3日月曜日の午前中、10時からまた市役所で開催させていただきたいとメールを使っていた方には送らせていただきました。</p> <p>また後日正式な案内文を送らせていただきますが、3月3日月曜の10時から12時で、ご参加いただける方はご予約を入れていただくようよろしくお願いいたします。</p> <p>審議内容は、市民様から応募いただいた食品ロスに川柳を選んでいただくのが1点、もう1点は基本計画をパブリックコメントにかけて、市民の皆様からご意見いただいた結果、最終案をみなさまに提示させていただくのが大きな審議事項になります。</p>
	<p>上田委員</p>	<p>評価部会はいつごろか。</p>

速見	<p>評価部会については、岩田様や部会委員様の日程を聞かせていただいて、年度内に開催できればと考えています。</p>
副会長	<p>ちなみに川柳は、何件ぐらい集まっているのでしょうか。</p>
速見	<p>34名程度の方に、54件ほどいただきました。11月まで募集しました。</p>
会長	<p>それでは、よろしいでしょうか。</p>
上田委員	<p>それじゃあ事務局へ、恐縮ですが。せっかく新井さんがおいでなので、合わせてちょっとお尋ねしたいのですが。</p> <p>雑がみの中に牛乳パックとか、お酒のパックとか、ほかの飲料用のパックとかを混ぜて。雑がみの中に混ぜて収集というのは可能なかということ。それと牛乳パックはほかの紙パックと分けなきゃならないのか、というのもほかの紙パックは、開け方が書いてはあるが、開かないやつと開くやつとがあるみたいだが、いくらリサイクルできるとは言っても、非常に開けにくい。危ないものや、逆に危険なものもあり、もういっそ踏みつぶして出しても良いのではということについて、ちょっとご披露いただけたらと思うのですが。</p> <p>そのうえで啓発も考えていきたいなと思います。</p>
会長	<p>時間も押していますので、簡単にご説明いただいてもよろしいでしょうか。</p>
新井委員	<p>牛乳パックと雑がみは分けていただきたい。</p> <p>紙パックの中でも、お酒のパックは内側にアルミコーティングされているので、我々ではリサイクルできないです。</p> <p>プラスチックの飲み口がついているやつは、お手数ですが取っていただき、開いて出していただければ。</p> <p>フルーツジュースのパックなどいろいろあると思いますが、開けていただき、中身が白ければ、牛乳パックと併せて出していただいて大丈夫です。</p> <p>ただ銀色とか、複雑なコーティングでビニールが分厚いものなどは、我々はリサイクルできないです。</p>
上田委員	<p>ありがとうございます。私としては、お聞きしたいことがあるのですが。</p>
会長	<p>時間がちょっと過ぎてしましまして、申し訳ございません。</p> <p>今日の議事は終了いたしましたので、事務局に進行をお返ししたいと思います。</p>
速見	<p>ありがとうございました。皆様方のご協力により、すべての議事を終えてい</p>

	<p>ただきありがとうございました。</p> <p>第3回審議会につきましては、また時期が近付いたらご案内させていただくとともに、事前に資料をお送りさせていただきますので、ご確認くださいませようよろしくお願いいたします。</p> <p>最後に、事務局を代表いたしまして前川市民環境部長よりご挨拶を申し上げます。</p> <p>前川市民環境部長 挨拶</p> <p>※以下、閉会後に各委員から頂いたご意見</p>
中森委員	<p>審議会の開始時間について、14時半開始は遅い。多くの委員の意見を聞き、またこれだけの案件があることを考えると13時半から開始すべきだった。</p>
上田委員	<p>追加で提案された事業がたくさんあった。循環型の社会だとか、自然に優しいというのは行政に限らず、全体の責務。</p> <p>掲げた事業そのものに反対するつもりはない。ただ基金を活用するのが妥当か疑問。</p> <p>基金を活用するのは今まで環境課の分野だけだったのに、既にほかの分野でやっているもの、例えば給食センター等も鞍替えをして基金を活用するのか。次回以降は、区分け・仕分けするための基準を作った方がよい。でないと行財政改革の隠れ蓑のようだ。吟味していることは分かっているが。</p>
岩本課長	<p>大前提になりますのが、基金条例で、その用途を第一条で整理していますが、実際の実務をするうえで、判断するための材料ということでしょうか。</p>
上田委員	<p>その第一条の、後段※のところの整理についてです。</p> <p>※第1条 <u>ごみの減量と再資源化を進め、次世代に豊かな自然環境を継承する事業の推進を図るため、</u> 木津川市循環型社会推進基金（以下「基金」という。）を設置する。</p> <p>ごみの減量やリサイクルの問題ではなく、その後の部分の解釈が広すぎるから。</p>
会 長	<p>なので、そこの考え方といいますか、どういうものにどういう風に充てるのか。今回の最後の提案についても、元々一般会計を充てていたものがこちらに来たな、と思ったのですが。</p> <p>そういうこともあっても良いと考えますが、古紙回収補助金も元々一般会計で実施していたものがこちらに入ってきていますので。</p> <p>ですが、そこの考え方をどのようにしてやるのか、考え方を整理した上で実施していかないと、おそらく市長のご意向もあると思いますが、バーッと事業</p>

		<p>を募集されて、集めたものが提案されているような感じがします。</p> <p>基金をどう活用していくのがいいのかという、考え方を整理したうえで、それに当てはまるものとしてこういう事業をやっていきましょうという提案になっていればいいと思うのですが。</p>
岩本課長		<p>ちょっと急に追加で、また複雑な4つの事業を提案させていただいたと思っておりますが、ご指摘いただいたことを事務局の方で整理しまして、また皆様にご相談させていただきます。</p>
副会長		<p>拡充にしても新規事業にしても、実施される時には、例えば先ほどの第一ににしても、ちょうど今年補助金がない時に清掃用具を揃えた団体からすると、来年は全額補助が出る、現物が支給されるとなると、不公平に感じる。</p> <p>先ほどの補助単価を10円にするのもそうですが、できるものは段階的にとか、少しずつ変えていくようにするとか、長期間予告した上で実施するとかしないと、今頑張っておられる団体がやる気をなくされると、市としてもダメージだと思いますし、そもそも税金ですので、説明責任という点で配慮に欠けるような気がします。</p> <p>先ほども申しましたが、別に補助単価を10円にしなくても、7円でも京都府下トップになれるので、頑張るとしても8円でもいいと思いますし、それでも合計すると何百万円の違いになりますし、また大切な市民からの税金ですので、少し慎重になればいいかなと思います。</p> <p>また橋本先生がおっしゃったことにも通じますが、せっかく有識者も含めて本日委員様が集まっていますし、私も他の市町村に行かせてもらうこともありますし、ここまで積極的に意見を言ってくれる方というのは少なく貴重だと思いますので、審議会としての時間は少なくとも良いので、委員や、それこそパブリックコメントをもらい、アイデアを募集すると、もっともっと良い意見も出ると思います。</p> <p>来年は無理だと思いますが、長期の基金の運用計画を作られる時には、そういう方法も含めて考えたら、すごく良い使い道が見つかるかなと思いました。</p>
仁張委員		<p>PTAから来ています、仁張です。</p> <p>私は棚倉小学校に子どもが3人いるのですが、月二回、アライの森さんに古紙とか全部回収してもらって、その売捌き金を子ども会としていただいて、子どもたちの事業や、進級祝いとかに使わせてもらっています。</p> <p>私達からしたら補助単価を10円にするのはありがたいのですが、確かにほかの子どもがいない家庭からしたら、「なんで？」ということになりますので、それは地域で考えて、例えばごみ袋を購入して配布する等、そういったことも考えていけたらとは思っています。</p> <p>あとやはり子どもの力というのはすごくて、夏休み前に雑がみ回収袋を子どもが持って帰ってきて、恥ずかしながら私もそこで「ごみではなくリサイクル</p>

	<p>吉岡委員</p> <p>新井委員</p> <p>吉岡委員</p>	<p>できるのか」と知りまして、子どもから教えてもらうことがすごく多いです。</p> <p>なので、こういった講演会も子どもが聞くことで、子どもはすごく素直なので、そうかやってみようという風になればすごくいいことかなと思っています。</p> <p>私は看護師として働いているのですが、コロナ禍の時に患者を守るため、またスタッフを守るにはどうしたらいいか考えた時に、いろいろやってみて、全ての案が良かったことは無いですが、一度試してみて、その後で考えてみるというのも良いことかなと個人的な意見ですが思います。</p> <p>今年の8月、ごみ袋の中身を点検するのに、速見さんと一緒に行かせていただきました。</p> <p>黄色い指定袋の中には、だいぶ水分がある。おむつの中身もある。おむつも再生できることを教えてもらった。</p> <p>缶・ビンも、もちろん黄色い指定袋に入っている。</p> <p>若い子がそれを一つずつ分けているのを見て、かなり環境課も苦勞してやっているのだなと。</p> <p>これを見られた経験がある人も案外おられないと思いますので、速見さんはもう専門ですが。</p> <p>アライの森さんも同じだと思います。古紙を集めて、水分を含んでいるのに持って帰ってくれた時もありました。</p> <p>4年間老人会で古紙回収をさせていただきましたが、収集してくれる人の気持ちになって、市の方でもそういうことをPRして欲しいと思います。</p> <p>補助単価が5円から10円になる、そこまでは書かなくても良いかもしれないが、老人クラブには補助を出せないなら、古紙回収を通して補助して欲しい。PTAのお金もギリギリで、クリスマス会やいろいろやってくれていますので、ジュース一本分の補助金でも出せるとなれば、古紙回収に取り組みますよね。</p> <p>あと、毎月広報を配布されている。古紙を集めたら、広報紙が何割かあります。これも昔みたいな回覧板方式にしたら、かなり減るといつも思っています。今のままじゃないと嫌というかもしれませんが。</p> <p>それから椿井も住宅が200戸ほどありますが、回覧板方式にしたら28部で良くなります。</p> <p>回覧板で回した方がしっかり見るという人も、内容を簡単に書いてくれたらもっと見る人もたくさんおられると思います。</p> <p>コミュニティバスのフリーパスのことも、いろいろな紙をもらうが、回覧板で回すと周知できるので、広報紙も大事ですが、回覧板方式にしたら紙もペーパーレスになって良いと思いますし、部数はかなり減って予算も減ると思いますので。</p> <p>できればたくさん出していただけたらありがたいです。</p> <p>新聞紙も大分少なくなりましたからね。</p>
--	-------------------------------------	--

<p>岩田委員</p>	<p>山城総合医療センターの岩田といいます。</p> <p>やはりごみの問題は、全国の自治体が大変だと感じていると思います。一番感じたのが雑がみ。これが周知・徹底できていないと。今聞くとやはり木津川市の取組みに、私は賛同したいです。</p> <p>補助単価が5円から10円、倍になるという話について、私は京都市の人間なので木津川市の地域コミュニティについて分からないところもありますが、いろいろな収集事業者が、回収を一生懸命頑張ってもらっているので、私はこの取組みはサポートします。</p> <p>私は病院の関係者として、家庭ごみは出しませんが、感染症の関係があり、ごみの排出は責任を持ってしております。</p> <p>分別の重要性は、将来無くなることもありませんので、一生懸命取り組んでいただく。そのため、市の取組みに賛同したいと思います。</p>
<p>副会長</p>	<p>質問ですが、6番の中間処理施設は、具体的にどこへ行かれる予定でしょうか。</p>
<p>速見</p>	<p>山城町にある、南京都清掃社です。粗大ごみや容器包装、不燃ごみを中間処理しておられ、環境課の職員も見学させていただくことにしているのですが、見に行って初めて、ごみの分別が非常に大変なものなのだと気づかされています。</p> <p>始めにごみを排出される各ご家庭できっちり分別していただければ、こういうことも減っていくのだろうと見学すると感じるのですが、こういったことを市民の方にも感じていただけるツアーにできればと考えています。</p>
<p>会長</p>	<p>ちなみに、今回の拡充事業と新規事業は、収入に対してどれくらいの費用でしょうか。</p>
<p>速見</p>	<p>古紙を除くと、トータルとしては、1,000万円かからないです。基金が積みあがっていかない、とまではいかないのですが、これからは基金残高は積みあがっていく傾向になるかと思います。</p> <p>ただ、上田委員からもありましたように、行財政改革の内容を我々も考えていないわけではなく、基金があるから何にでも使えばよいという思いは全くありません。</p> <p>基金が枯渇しない範囲で、その年度の収入から必要経費を差し引いた残額で、市民の方へ様々な面で還元できるようにしたいと。例えば古紙回収は補助金として地域へ還元されますし、ツアーや講演会であれば市民の方々へごみの現状という知識を入れていただくのに還元できると考えておりますので、決して無駄遣いすることなく、市民にとってプラスになるような基金活用事業を環境課として進めていければという思いで今回提案させていただいております。</p> <p>なので、補助単価も10円、20円と上げていこうとも全く思っておりません。</p>

		<p>今回は雑がみの可燃ごみへの混入率を減らすことに重点を置きたいと思っております。インパクトのある倍の10円と提案させていただきましたが、今回ご意見をいただきましたので、市長の方へも伝えさせていただきたいと考えております。</p>
会 長	岩本 課長	<p>来年度は無いという話でしたが、市民が太陽光発電を導入する際の補助金等は。</p>
会 長	前川 部長	<p>課内ではそういったことも検討しており、現在は国からの助成を京都府経由で助成してもらっております。</p> <p>今までのように発電した電気を売るのではなく、発電したものを貯める方向へシフトしているかげんもあり、どうしても太陽光の設置だけであれば、補助がなくなりつつあります。</p> <p>逆に、すでに太陽光発電を乗せておられる方が、蓄電池を置きたいなという時に、今は蓄電池だけの補助はございませんので、そういう方向でも基金を活用できたら、と検討したいと考えているところです。</p> <p>後付けでもいいので、という訳ではありませんが、どういう分野に対してこの基金を使っていくのかということとか。さっきの、一般会計ですでに実施している事業をこちらへ持ってくる時のルール、考え方を何か整理していただいた方が良いのかと。</p> <p>そこは今までも議論してきたところで、本日改めてご指摘いただいたと考えております。</p> <p>今回の基金活用事業は、今までごみの減量化と再資源化にある意味限定しながら使っていたものを、この取組みなら効果が見える、やってみたいこととして、展開をさせていただいたところです。</p> <p>現計画から10数年が経ち、状況も変わり、地球の温暖化対策という非常に大きな問題に対し、全国民を挙げてどう取り組んでいくのか。</p> <p>公共施設でやっていない取組みを、民間事業者が、逆に民間事業者がやっている取組みを、なぜ公がしないのか、という点も含めて、現在デコ活という国民運動を展開しておりますが、それぞれの立場で地球温暖化防止対策を実行しており、そこにつながる場所は、何とかこの基金も活用させていただきたいと考えております。</p> <p>初めての試み、今回初めての提案となります。</p> <p>ご意見いただいたとおり、ガイドラインが無いのに、何でもかんでも提案しているように受け取られざるを得ないのは重々承知ですが、この基金の活用を図りながら、市民の方々に還元しながら、一つのガイドラインを定めていきたい。</p> <p>今回は広く庁内に募集を掛けた時、こういった事業が上がり、具体的に固ま</p>

		ったものについて順番に提案をさせていただいております。
その他 特記事項		